

2019年度
 第1回
推進学習会
 (7月10日)

7月度の委員会の主なとりくみ (6/21～7/20)

とりくみ内容別	委員会数	参加人数
 産地工場見学	26	684
 取引先を講師に学習会	2	44
 平和のとりくみ	1	12
 内部学習会	2	19
 その他のとりくみ	5	81
合 計	36	840

- 
 葬儀場見学 (ぱるむ)
 6月21日 高野地域活動委員会 (枚方市)
- 
 小中一貫教育について
 6月21日 交野南地域活動委員会 (交野市)
- 
 パルカフェ
 6月21日 西地域活動委員会 (大阪市)
- 
 サラダコスモ見学
 6月22日 浪速地域活動委員会 (大阪市)
- 
 COOP商品を使って楽しくクッキングしよう
 7月2日 榎本パル委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月3日 枚方中央地域活動委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月3日 放出パル委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月4日 すぎ全パル委員会 (枚方市)
- 
 築野食品見学
 7月4日 門真合同地域活動委員会 (門真市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月4日 交野西・交野東地域活動委員会 (交野市)
- 
 夏の冷たい料理とスイーツ
 7月4日 鷹合パル委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月5日 みなみ地域活動委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月5日 星ヶ丘地域活動委員会 (枚方市)
- 
 なかむら農園 (デラウェア収穫)
 7月6日 横堤パル委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月6日 まぎの地域活動委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月6日 旭地域活動委員会 (大阪市)

- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月7日 香里園パル委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月7日 大正地域活動委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月7日 都島南地域活動委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月8日 西地域活動委員会 (大阪市)
- 
 みんなで楽しく笑いヨガをしましょう!
 7月8日 田口山パル委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月10日 サダ東パル委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月10日 四條畷東地域活動委員会 (四條畷市)
- 
 物流センター・商品検査室見学
 7月11日 寝屋川東地域活動委員会 (寝屋川市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月13日 天の川地域活動委員会 (枚方市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月13日 寝屋川北地域活動委員会 (寝屋川市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月14日 榎本パル委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月14日 住之江地域活動委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月14日 今里パル委員会 (大阪市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月15日 寝屋川中央地域活動委員会 (寝屋川市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月15日 交野南・交野北地域活動委員会 (交野市)
- 
 紀ノ川農協 (とうもろこし収穫)
 7月15日 守口西部地域活動委員会 (守口市)
- 
 井ゲタ竹内
 7月17日 城東北地域活動委員会 (大阪市)
- 
 タカキベーカリー
 7月18日 沖・五月田パル委員会 (門真市)
- 
 立命館大学平和ミュージアム
 7月18日 つだ地域活動委員会 (枚方市)
- 
 ヤマモリ見学
 7月19日 菅原東パル委員会 (枚方市)

「知って選んで買うこと、それって何につながるの？」

パートⅠ 生協の商品を通して… 京橋事務所(本部) 参加121名(組合員活動委員)

私たちは日々さまざまな商品の中から選んで買い物をしていきます。私たちの消費や行動が社会に与える影響について考えるため2回シリーズで学びます。この日はパルcoopの商品に対する考え方や、商品案内に掲載されている商品のマークの意味などについて商品の和田さんからお話を聞きました。

**誰かの笑顔につながる
お買い物**

「おいしい・便利・安い・かわいい」など自分目線だったお買い物を、ちよっと見方を変えて「環境・社会・地域・人々」という他者目線の視点をプラスすることで、エシカル誰かの笑顔につながるお買い物へとなります。生協は、昔から地域や社会の事を意識した商品活動(開発・販売)を展開。1960年代に発売された生協バター※1に始まり、1990年にはプルトップをステイオンタブにした飲料缶※2を業界に先駆けて導入するなど、一貫して安心できる商品を提供してきました。さらに組合員さんの声で商品を改善していくというシステムは生協ならではのものです。パルcoopでは4・5・6月で約9000件の

お声が寄せられています。ただ、改善するためには「作る責任」と「使う責任」を考える事も大切です。よく言われることは「三方よし(買い手よし・売り手よし・世間よし)」。作る生産者さんやメーカーさんとも信頼関係を作り、つながることで一緒に商品を育てていく事ができます。

このように生協で利用する事が、自然とエシカル消費につながっています。

商品案内には、PB(プライベートブランド)商品やコラボ商品などに独自のマークを付けて掲載。最近では「パル・よど開発商品」というマークも加わり、パルcoopとよどがわ生協の組合員さんの声で改善していける商品である事が分かるようになっています。農産品には「ハート栽培」マークでより安心である事を、公的認証を受けている商品には統一したデザインのマークで案内しています(下表参照)。

商品案内やチラシを作る私たちにとっては、開発や改善の背景や苦勞などもキチンと「伝える責任」もありこれからも努力していきます。商品を選ぶ時、何を買うのか考えるきっかけになればと思います。

※1…戦後復興から高度成長期、物価が急上昇した時代にくらしを守る価格への取り組みとして、CO・OP商品第1号の「生協バター」が誕生
 ※2…飲料缶の「プルトップ」は缶と一緒に回収できない・野生動物が飲み込んで危険などごみ問題に。「ステイオンタブ」は缶の飲み口の口金

～エシカル消費につながる商品 <持続可能な生産と消費につながる>～

農産品		エシカル			
産直	ハート栽培				
産直	ハート栽培	「地球にやさしい」 エシカル	地球にやさしい	「環境配慮パーム油」 エシカル	環境配慮パーム油
日本生協連が開発	コープきんき事業連合が開発	「森林資源を守る」 エシカル	森林資源を守る	「子どもたちに栄養と希望を」 エシカル	子どもたちに栄養と希望を
co-op	co-op	「海洋資源を守る」 エシカル	海洋資源を守る	「ピンクリボン運動」 エシカル	ピンクリボン運動
		「環境配慮の養殖」 エシカル	環境配慮の養殖	「障がい者支援」 エシカル	障がい者支援
		「熱帯と森と人を守る」 エシカル	熱帯と森と人を守る	「学校づくり支援」 エシカル	学校づくり支援
		「CO2を見える化」 エシカル	CO2を見える化	「ボルネオのみどりを守る」 エシカル	ボルネオのみどりを 守る
		「途上国の暮らしを守る」 エシカル	途上国の暮らしを守る	「エビ養殖基金」 エシカル	エビ養殖基金

※これから開催されるとりくみのお知らせは、該当地域の共同購入・個配の組合員さんに別チラシでお届けしています。